



Title	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援
Author(s)	大阪大学附属図書館
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102690
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

オープンアクセスを巡る状況と
大阪大学におけるオープンアクセス支援⑥



「大阪大学オープンアクセス方針」



大阪大学オープンアクセス方針

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/openaccesspolicy/>

- 大阪大学は2020年4月17日に「**大阪大学オープンアクセス方針**」を策定
- 学術雑誌に掲載された**大阪大学の教職員の研究成果**を、学術機関リポジトリ「大阪大学学術情報庫（OUKA）」又は著者が選択するその他の方法によって**可能な限り公開**することを定める

(趣旨)

1. 大阪大学（以下「本学」という。）は、世界最高水準の基礎的、基盤的研究や学際融合研究が生み出す多様な知の創出と深化を通じて、心豊かな人類社会の発展に寄与し、世界的課題解決に貢献することのできる世界屈指の研究型総合大学を目指している。それを遂行していくにあたり、本学の研究成果を国内外に広く還元するとともに、大学の知的資源を広く社会に発信することを目的として、オープンアクセスに関する方針を採択する。

大阪大学オープンアクセス方針

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/openaccesspolicy/>

- 大阪大学は2020年4月17日に「**大阪大学オープンアクセス方針**」を策定
- 学術雑誌に掲載された**大阪大学の教職員の研究成果**を、学術機関リポジトリ「大阪大学学術情報庫（OUKA）」又は著者が選択するその他の方法によって**可能な限り公開**することを定める

(趣旨)

1. 大阪大学（以下「本学」という。）は、世界最高水準の基礎的、基盤的研究や学際融合研究が生み出す多様な知の創出と深化を通じて、心豊かな人類社会の発展に寄与し、世界的課題解決に貢献することのできる世界屈指の研究型総合大学を目指している。それを遂行していくにあたり、本学の研究成果を国内外に広く還元するとともに、大学の知的資源を広く社会に発信することを目的として、オープンアクセスに関する方針を採択する。

オープンアクセス方針の要点

| 本学教職員の

- 役員および「国立大学法人大阪大学組織規程」に定める教職員

| 学術雑誌に掲載された研究成果を

- 学術雑誌論文、会議発表論文、紀要論文
- 2020年4月17日以降に出版されたもの

※学外の研究者との共同研究成果、責任著者や第一著者でない場合も対象となります。

| 著者が選択した方法で公開する

- 大阪大学の機関リポジトリ(OUKA)で
- その他の方法で
 - 外部リポジトリへの登録
 - 出版社にAPCを支払いオープンアクセス化 等

- 方針の対象ではない教職員の方の研究成果も公開できます。
- 方針の対象ではない研究成果についても公開を推奨します。

教員の方々にお願いしたいこと

- これから論文を発表する場合は、オープンアクセス化をご考慮ください。
- 2020年4月17日以降に出版された論文がオープンアクセスになっているかご確認ください。

! 以下のようなケースでは、既にオープンアクセスになっています。

- OUKAに継続的に登録・公開されている学術雑誌（紀要等）に掲載された
- オープンアクセス誌に掲載された、APCを支払いオープンアクセスにした
- J-STAGE・PMCなどのサイトでオープンアクセスになっている

オープンアクセスではない場合、OUKAへの登録をお願いいたします（図書館から登録依頼メールをお送りすることがあります）。

- やむを得ない理由によりオープンアクセスにできない研究成果については、図書館に対し適用例外の申請を行うことができます。

次の動画

大阪大学のオープンアクセス支援①
APC支援



次の動画

大阪大学のオープン APC支援

視聴後は
確認問題へ！

